



三鷹 同窓会報

東京都立三鷹高等学校同窓会 発行 平成 13 年 5 月 20 日
〒181-0004 東京都三鷹市新川 6-21 都立三鷹高校内
発行責任者：石崎 方俊 編集責任者：宮川 一城、大波多 元

祝 同窓会50年

東京都立三鷹高校はこの3月に第50期生334名(含7月卒業)を送り出し、同窓会も創立50周年を迎えました。母校の歴史は昭和24年1月に当時の北多摩郡三鷹町下連雀に開校した三鷹町立新制高等学校に始まります。

恒例の同窓会は、同窓会創立50周年を祝い、6月10日(日曜日)に母校にて総会およびパーティを開催いたします。懐かしいクラスメートに声をおかけになり、また、ご家族連れで懐かしい母校を訪れてみてはいかがでしょうか。なお、今年の総会では、各界でご活躍の同窓生によるスピーチを企画しました。どうぞお楽しみにして下さい。

今年の総会は母校で

50期生を含んだ名簿も編集を終え、この6月には申込みをされた皆様にお届けできる状態になりました。本年3月には10数年ぶりに住所不明者調査の臨時会報を発行いたしました。ご本人やご友人から多くの連絡をいただき、数百名の方に再び会報をお届けすることができるようになりました。また、同窓会の厳しい財政事情の説明に対し、多くの皆様から励ましの言葉と会費納入を頂き、何とか持ちこたえる状況となっております。ご報告させていただきます。ご協力いただいた皆様には厚くお礼申し上げます。

同窓会では専従係員をおい

ていない関係で行き届いたサービスや迅速な対応ができないのが現状ですが、皆様のご厚意、ご声援に着実に応えできるよう、同窓会総会の開催、同窓会報の発行等の活動を続けていきたいと思っております。今後とも会員皆様のご声援を心よりお願い申し上げます。



現在の学校正面入り口

はじめまして

校長 外池 武嗣

同窓会の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。

このたび、前校長 芹川一巳先生の後任として、4月1日付けで本校に着任いたしました。前任校は練馬区にある都立石神井高等学校で、三鷹高校と同じように伝統のある学校でしたが、三年間いてこのたび転任してまいりましたので、どうぞよろしくお願いたします。

三鷹高校の歴代の校長先生とはいろいろなどころでご縁があり、芹川前校長先生とは校長会の同じ委員会に属し、時折会合で本校に伺ったことがありました。また、それ以前の方々は、顔見知りであったり、だいぶ昔からお世話になった方もおられます。着任した印象としては、校地が広く校舎も過去に30学級であったせいか、ゆったりと使われていること、前任校と比較すると周辺が広々としていて民家が隣接していないこと、そして、いろいろな意味であちらこちらにこれまで大切に培っていたものがいま見られることなどがあげられます。文武両道、自主・自律、評判高い進路実績等、どれも結構なことですし、同窓会の皆様が残された足跡、業績が今も息づいているように感じられます。



この冬はこのほか厳しい寒さでしたが、例年より早く始まった入学式では寒さに耐えた校門付近のうすいピンクのソメイヨシノ、白い山桜が317名の新入生を歓迎するかのようには咲き誇っていました。フレッシュな新入生も含めた各運動部はグラウンドに広がり歓声が響いております。前任校では校長室からは校庭が見えなかったので、よけいそのように感じるのかもしれませんが、生徒は優秀のようであり、授業などもよく人の話を聞く耳をもっており、部活動も活発でそれぞれが活躍している様子が数日で感触はつかめました。

今、都立高等学校はどこも転機にさしかかっています。例えば高校改革と関連して、新しいタイプの単位制高校、総合学科高校への移行、チャレンジスクールなどの定時制高校の再編成、新聞でも報じられているように入学試験問題の自校作成、教職員には人事考課制度、外には通年の授業公開、学校運営連絡協議会の開催など開かれた学校づくりをめざした経営等があげられます。いずれにしても都民、地域から信頼される学校づくりが求められる中で、先生方が一体となって意欲的に教育活動がなされ、生徒も生き生きと学び、学校生活ができるよう、これまでの本校のよさを生かしつつ新たな風を吹き込みながらと考えておりますので、同窓会の皆様には今後ともよろしくご支援、ご協力をお願いいたします。

同窓会50年に思う

会長 石崎 方俊

同窓会の皆様、同窓会も50周年を迎え、歓喜の思いでございます。私は10期卒業ですが、それから40年あまりの歴史を刻んだことに感銘を受けています。同窓会と共に今日迄多くの皆様のご協力を得ながら、充分ではないものの没頭出来た事は幸せだと思います。これからも大切な人生を、自分の仕事と共に同窓会の一助になればと思っております。

顧みますと、入学した頃は現在の新川の地に、木造の学校が畑の中に忽然と現れた、という感じでした。校庭はご存知のとおり、雨が降れば田んぼのような状態でした。しかし、生徒ホールが集会所・体育館兼用ホールして建設された後整備が進み、本格的な体育館の建設、校舎の鉄筋への建替えなど、どんどん良い学校に生まれ変わって行き、現在は都の指折りの校舎となっております。今年の同窓会は50周年記念総会として母校で開催しますので、古い卒業生の皆様はその変わりように驚かれることと思っております。

施設が充実し始めた頃から三鷹高校も進歩し、進学率をはじめ色々な面で多摩屈指の学校になってきました。一時は生徒数も増え、1学年10クラス編成になりました。時に日本経済も発展しつづけバブル期の時代となったわけですが、10年余り過ぎた今では完全なるデフレ不況となっております。IT革命により情報産業時代となった現在、通信技術などは10年で70年分進むといわれ、従来からは想像も出来ない速さで変化をしているようです。

国際基督教大学教授の風間晴子さんは、日本の科学教育について、「プロセスを重視する教育は忍耐を要します。すぐに結果が欲しい大人が待てない。そのことがどれだけ子供たちや学生をつぶしているか、待つことは実は最大の能力かもしれません。」と言っていますが、翻って同窓会活動を見たとき、現在は総会の出席も少なく地味な活動となっております。しかしクラス会やOB会等の開催

は盛んなようであり、同窓会はその支援を基本としながらも同窓会の意義をご理解いただき、総会等にご出席いただく方が増えることを期待したいと考えております。仕事は勿論大切ですが、人との絆を作る事は人生において最も重要なことと思われま。その為名簿の充実もより一層はかりながら、同窓会も頑張っていく思っています。

同窓会は今、50周年です。今後の活動は今迄の先輩が続けて来たことのつなぎに過ぎない事かもしれません。現代は厳しい時代ですが、悪い時代があれば良い時代もあるわけで、それを乗り越えて行くひとつの原動力が人の絆であると思っております。同窓生の皆様がより多くの人と出会い、それをひとつの財産として現代社会の組織の崩壊の中で、実力を発揮され進んで行かれることを期待しております。

今後とも同窓生皆様方のご協力により、なお一層同窓会が発展するように微力ながら努めていきたいと思っております。

総会でのスピーチ予定者と内容

深野 明(1期生、元筑波大学附属駒場中学・高等学校教諭)
「いま、学校教育に求められるもの」

吉野利昭(15期生、東京都議会議員、株吉野倉庫取締役)
「都議会議員がつけた石原慎太郎都知事の通信簿」

以上はスピーチ予定者のうち、5月2日までに確定した方です。当日はもう数名の方を予定しております。

母校だより 前川孝志先生

退職・異動された教職員(敬称略)

定年あるいは事情により退職された方、本校在職期間	
芹川一巳(校長)	3年
洞庭克行(嘱託・数学)	2年
毛井奈穂(主事)	1年
異動された方、本校在職期間と異動先	
齋藤明美(音楽)	9年 都立小石川高校
福澤卓三(庶務係長)	2年 都立清瀬高校事務
巽康信(主事)	2年 東京都福祉局
山林淑乃(主事)	2年6ヶ月(H12年10月異動) 都立農業高校
伊東由美子(司書)	8年 都立農林高校
太田昌幸(用務主事)	2年 都立蒲田高校
着任された教職員、前任校	
外池武嗣(校長)	都立石神井高校
川口明子(音楽)	都立駒場高校
田村雅俊(嘱託・健全育成)	都立秋川高校
久保田登久乃(嘱託・養護)	都立鷺宮高校
鈴木浩二(経理係長)	都立小金井養護学校
相原俊則(主事)	都立砧工業高校
庄司雅美(主事)	調布市立第三中学校
増田道子(司書)	都立桜町高校

今年度の学校行事日程

球技大会	5月1日(火)~2日(水)
合唱祭	6月19日(火)
体育祭	9月11日(火)
鷹高祭	9月23日(日)~24日(月)
卒業式	3月12日(火)